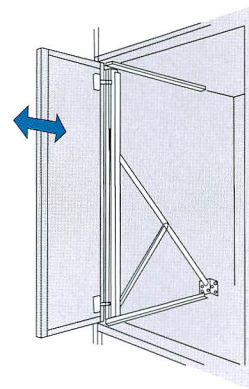
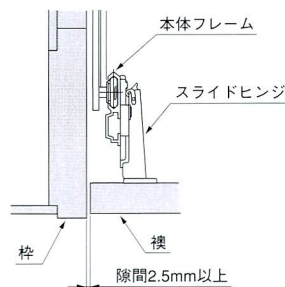
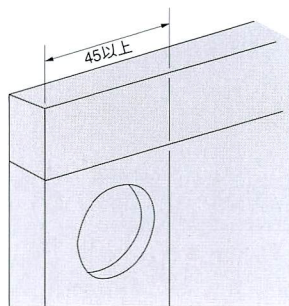
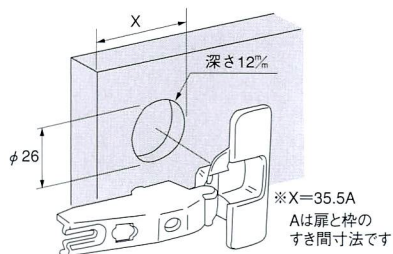


ピボットスライダー建具製作及び木枠造作上の注意

建具製作上の注意



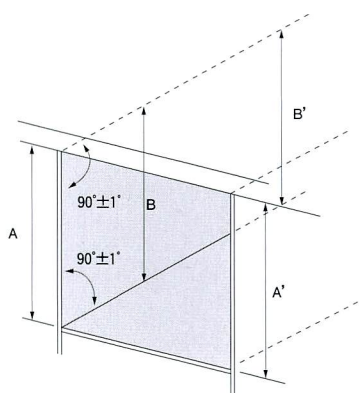
仏間用ピボットスライダーは、丁番部分にスライドヒンジを使用しています。そのため上図の様な加工が必要になります。

※しっかり取り付けるためには芯材を上図のように入れて下さい。

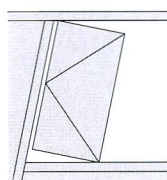
1. スライドヒンジを使用しているため左図のようにスキ間が小さくなり、枠等の加工も必要ありません。

2. 開閉及びスライド動作もスムーズにいけます。

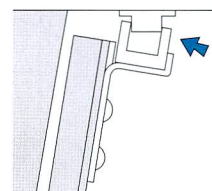
木枠造作上の注意



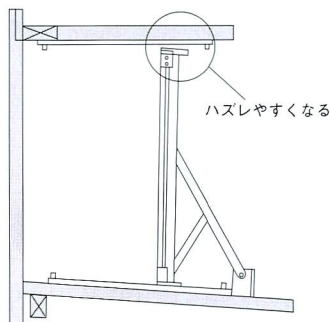
枠を取り付け、収納部を造作するときに四隅の直角を出して下さい。
まず垂直はさげ振りで出し、後はAとA'の寸法差、及びBとB'の寸法差が±2mm以内であれば、四隅の角度が90°±1°以内でも納まります。



1. 枠や壁が傾いていると扉がひっかかりやすいため、ヒンジに無理がかかります。



2. ガイド部分に負担がかかるためこわれやすくなります。



3. 床や上のレール取付部が平行でないと、ガイドがはずれやすくなり故障の原因となります。また、はずれなくても前後のスライドの時、ガタつく原因となります。